週報 W RAPID *Weekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease*

青森県感染症発生情報　（2008年第47週）

発行　青森県感染症情報センター（2008年11月28日）
（青森県環境保健センター：担当　微生物部）
TEL　017-736-5411、FAX　017-736-5419
青森県環境保健センターホームページ
http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html

Ⅰ　第47週の発生動向（2008/11/17～2008/11/23）

1. インフルエンザについては、上十三保健所管内において、今シーズン初めての患者報告がありました。
2. RSウイルス感染症については、県全体の届出総数が増加傾向にあることから注意が必要です。

Ⅱ　第47週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市（再掲）	
疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	(前週からの増減)	数	定点	数	定点
(85) インフルエンザ									12	1.33			12	0.18	12				
(74) RSウイルス感染症	15	1.67	14	1.56	7	0.78	7	1.40	8	1.33			51	1.21	20			15	1.88
(75) 咽頭結膜熱	2	0.22									1	0.25	3	0.07	-1			2	0.25
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	2.78	21	2.33	2	0.22	5	1.00	2	0.33	3	0.75	58	1.38	10	1	1.00	24	3.00
(77) 感染性胃腸炎	25	2.78	8	0.89	9	1.00	13	2.60	9	1.50	19	4.75	83	1.98	16	4	4.00	21	2.63
(78) 水痘	13	1.44	17	1.89	9	1.00	10	2.00			6	1.50	55	1.31	11			13	1.63
(79) 手足口病	2	0.22	3	0.33	3	0.33	1	0.20	9	1.50	6	1.50	24	0.57	-12	1	1.00	1	0.13
(80) 伝染性紅斑			2	0.22									2	0.05	0				
(81) 突発性発しん	9	1.00	2	0.22	3	0.33	1	0.20	3	0.50	4	1.00	22	0.52	3	2	2.00	7	0.88
(82) 百日咳															0				
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																		
(83) ヘルパンギーナ	2	0.22	1	0.11									3	0.07	3			2	0.25
(73) 麻しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																		
(84) 流行性耳下腺炎	15	1.67											15	0.36	-2			15	1.88
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	3	1.50			2	1.00	1	1.00					6	0.55	0			3	1.50
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.00	12	12.00					7	7.00	20	3.33	13				

定点数

保健所名	インフルエンザ（内科＋小児科）	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	12	8	4	2	1
合計	65	42	23	11	6

は警報　　は注意報　　「空欄」：患者発生数０

Ⅲ　表Ⅱ以外の感染症法対象疾患

（注：届出数は**速報値**です）

（ 9）結核（二類全数把握疾患）：弘前４人、上十三１人、むつ1人、青森市４人　（20年計：431人）
（34）つつが虫病（四類全数把握疾患）：八戸１人　（20年計：16人）
（64）後天性免疫不全症候群（五類全数把握疾患）：弘前１人　（20年計：6人）

感染症の窓　後天性免疫不全症候群

表１　青森県における届出数（2004-2008年）　（Acquired ImmuneDeficiency Syndrome：AIDS:ｴｲｽﾞ）

2008年（47週現在）	6人
2007年	4人
2006年	6人
2005年	9人
2004年	4人

表２　2008年の内訳（青森県）

エイズ患者（死亡１人）	３人
HIV感染者	３人

ＷＨＯ（世界保健機関）は，世界規模でのエイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的とし，毎年12月１日を「世界エイズデー」として、加盟各国に対しエイズの知識の普及を呼びかけています。厚生労働省エイズ動向委員会は11月19日、1985年に集計を始めた国内のHIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染者とエイズ患者の累計が15,000人を超え、今年７月からの３カ月間に新たに報告されたHIV感染者は、四半期ベースで過去最多の294人、エイズ患者についても、過去２番目の多さであることを発表しました。エイズとは、HIVに感染して起こる病気ですが、感染しても、すぐに症状は現れず、症状が無い状態で、他人に感染する状態が、６カ月から15年以上も続く場合もあります。感染経路は性的接触や注射器の共用など血液や体液を介することによって起こり、感染すると、身体の抵抗力が弱まり様々な病気にかかります。青森県では、現在６人の届出があり、７月上旬には、本疾患による死亡の報告があり、異性間接触以外に同性間が疑われる場合も見られています。エイズは、発症前治療の開始が重要であることから、早期発見のため積極的に検査を受けることをお勧めします。現在、各保健所では、無料検査を実施しているほか、エイズに関する相談も受け付けています。希望される方は、まずは、お電話で最寄りの保健所にお問い合わせください。

関連サイト：エイズ検査受診の呼びかけについて☞http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/11548.html